鉄研参加型クイズ大会 文責 \*\*\*\*\*\*\*\*

1. 全体的な評価

今回のクイズ大会は鉄研として初めての試みとなったが無事成功に終わったと思う。客の少なさに関しては反省点であるものの自分たちには目立った問題はなかったように思われる。

1. 反省点と改善策

* 観客数及び解答者数について

今回鉄研のクイズ大会の人の入りは良いものとは言えない状態だった。修道館ホールに半分入ったかどうかというくらい少なかった。当初、解答者は30人を予測していたが全てのクイズ大会で半分以上解答者が入ったものはなかった。

この点についての改善策としては、今回午前中の開催が11:00スタートだったため人を集められなかったことが考えられる。そのため開催時間を遅らせるか、あるいは午前開催をとりやめ、午後の部だけに集中するという事がいいと思う。午後の部だけにすることによって、客が午前の部と、午後の部で2分されていたのをひとつに出来ることで多く入れられるのと、鉄研の問題作成の手間が省けることだ。

もうひとつの改善策として、修道館ホールでの開催をとりやめもう少し狭い場所でやる、あるいは修道館ホール自体での使うスペースを減らすことだ。その事によって人が多くいるような状態を作ることができる。

もし来年度、今年と変わらない状態で行うのであれば、宣伝に力を入れるべきだ。

* クイズの難易度について

今回のクイズ大会は、記号問題が5問、早押し問題が9問、数値を当てる問題が1問という構成で行った。点数は全部で300点とした。しかし実際行ってみると、1位の解答者で3桁を超えていることがなかった。少し難易度が高めだったのかなと思う。確かに難しい問題は入れた方が面白くなるので続けて欲しいが、もう少し難易度の低い問題も混ぜれば小さい子でも多少点数はとれるのではないだろうか。

* 司会進行について

司会進行は2人で行い1人がタイムキーパー、1人が問題の出題者という形で行った。全体的には良かったものの明るさとスムーズさが足りなかったように思える。もっと来てくれた人が気持ちよく参加できるような雰囲気作りが大切だ。

* その他

司会以外の部員達がもっと来てくれた人たちをどう座らせるかなどの接客面では少し不足していると感じた。座る場所に関してはプロジェクター任せになっていて観客の方が、解答者の席に座るということも多々あった。このことに関しては今後全員が共通認識を持って接するようにして欲しいとおもった。今後も続けられる企画だと思うし受験生受けも良い企画だと思うので、来年度以降もっと質を良くして欲しい。